

2026年1月30日（金）

東京大学本郷キャンパス 福武ラーニングシアター

人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業フォーラム

人文学・社会科学データインフラストラクチャー 強化事業における取組

報告4：奈良文化財研究所

報告者：桑田訓也（奈良文化財研究所）



独立行政法人
国立文化財機構



奈良文化財研究所

Nara National Research Institute for Cultural Properties

記録が
伝えない
歴史の事実
Discovering historical
facts previously
unknown from
written records

発掘調査
研究
Excavation



文化遺産
研究
Research

文化遺産の
総合研究
Conducting comprehensive
cultural heritage research

次の世代に
伝える文化財
Transmitting cultural
properties to
future generations

保存
Conservation



活用
情報発信
Presentation

古代を
いまに活かす
Giving new life
to ancient remains

国立博物館



東京国立博物館 →

日本と東洋の文化財を守り伝える中心拠点としての役割を担う我が国の総合的な博物館です。



京都国立博物館 →

平安時代から江戸時代の京都文化を中心とした文化財を取り扱う博物館です。



奈良国立博物館 →

仏教美術及び奈良を中心として守り伝えられてきた文化財を取り扱う博物館です。



九州国立博物館 →

「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」をコンセプトにした博物館です。



皇居三の丸尚蔵館 →

皇室から受け継いだ文化財を保存し、皇室と文化の関わりを広く紹介する博物館です。

文化財研究所・センター



東京文化財研究所 →

文化財全般にわたる調査研究や保存修復、文化財保護の国際協力を行う機関です。



奈良文化財研究所 →

平城、飛鳥・藤原地域の城跡、建造物や歴史資料等の調査と保存活用を研究する研究所です。



アジア太平洋無形文化遺産
研究センター →

アジア太平洋地域の無形文化遺産保護のための調査研究を行うセンターです。



文化財活用センター →

国内外のさまざまな人が、日本の文化財に親しむ機会を拡大するために設置された組織です。



文化財防災センター →

わが国の多様な文化財に対する防災体制の推進・強化に取り組んでいます。

木簡 奈文研 + 自治体データ

木簡とは？

発掘によって見つかる墨書のある木片を、広く木簡と呼んでいます。発掘によってみつかる出土文字資料には、木簡のほかに、墨書土器、漆紙文書などがありますが、情報量の多さという点で、木簡は最も代表的な出土文字資料といえます。2003年以降、平城宮跡をはじめ、広島県草戸千軒町遺跡、山田寺跡、滋賀県西河原遺跡群などの木簡が、順次国の重要文化財に指定されています。



木簡出土の様子

木簡の発見記録は江戸時代にもあり（秋田県小ヶ田埋没家屋。『菅江真澄全集』九）、現物の伝わるものとしては、昭和初期の秋田県払田柵跡や三重県柚井遺跡で見つかった木簡の例がありますが、本格的な研究の始まりは、1961年（昭和36）1月の平城宮跡最初の木簡の発見がきっかけになりました（復元された第一次大極殿の北側に奈良時代後半に設けられた役所〈推定大膳職〉のゴミ穴S K219）。以後半世紀、木簡出土事例は全国各地道府県に広がり、年代も630年代頃から近代にまで及んでいます。木簡はまさに時間と空間を越えた普遍的資料といえます。全国の木簡出土遺跡は既に1000を超え、総点数は約37万点以上に達しています。そのうち平城宮・京跡で約17万点、飛鳥藤原地域で35000点に及んでいます。



木簡の保管状況



木簡データベース

WEBでひらく木簡の世界 / 奈良文化財研究所

木簡庫

Wooden Tablet Database

English 繁体中文 简体中文 日本語

木簡庫とは 使い方 ヘルプ

1 検索 1/10 1/10

木簡をさがす

文字画像をさがす

すべて 本文 カテゴリ (意味検索)

テキストから 画像から

キーワード

検索する

項目検索

内容 国名 木簡の形 出典 年紀・人名 大きさ・樹種等 記録

- お知らせ 毎月第4水曜日 12~14時の間は定期メンテナンスのため、サービスを一時停止いたします。
- 2023/05/09 新しいデータをアップしました！ (5/9) **NEW**
 - 2023/01/16 新しいデータをアップしました！ (1/16)
 - 2022/10/27 11月のメンテナンス日変更のお知らせ
 - 2022/01/12 新しいデータをアップしました！ (1/12)
 - 2021/07/29 『木簡庫』『電子くずし字学データベース』連携検索サービス終了のお知らせ
 - 2021/01/29 新しいデータをアップしました！ (1/29)
 - 2020/06/29 新しいデータをアップしました！ (6/29)



登録点数: 56832

史的文字データベース連携検索システム

奈良文化財研究所

別の文字で検索

検索文字: 安

検索する

興味のある文字を入力してください。(単文字のみで検索可能です)

木簡庫 - 奈良文化財研究所

検索結果: 5件

すべての文字画像を表示

電子くずし字学データベース - 東京大学史料編纂所

検索結果: 8件

すべての文字画像を表示

添付画像



調査主体が奈良文化財研究所（奈良国立文化財研究所含む）であれば、どなたでも複製、公衆送信、翻訳、変形等の複製等、自由にご利用できます。商用利用も可能です。申請不要です。詳細は[利用条件](#)をご確認ください。高解像度画像がColbaseに掲載されている場合がありますので、Colbase (<https://colbase.nich.go.jp/?locale=ja>) でもご確認ください。

詳細

URL	https://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/6AJHR47000101
木簡番号	1679
本文	・○東道草紙鳥「口」・『對』○『印』
寸法(mm)	縦 201 横 37 厚さ 8
型式番号	031
出典	藤原書4-1679(木研15-24頁-3(2)-付録11-11下(7))
文字説明	
形状	表簡は上端折れ、下削り、左削り、右削り、右辺下半破壊。裏簡は四角削り。内面はいずれも削りたまままで平調整。表簡厚さ5mm、裏簡は厚さ4mm。二片接続。
部種	半月籠ム
木取り	板目
登録名	藤原書草紙東門地区
所在地	奈良県橿原市飛騨町
調査主体	奈良国立文化財研究所鳥居屋敷書庫発掘調査部
発掘次数	藤原書第69-4次
登録番号	SDF02
地区名	6AJHR47
内容分類	封簡
国号/地域	
人名	飛鳥
和語	
西語	
木簡説明	表簡は上端折れ、下削り、左右両辺削り、右辺の下半を破壊する。裏簡は四角削り。内面はいずれも削りたまままで平調整。表簡は厚さ5mm、裏簡は厚さ4mm。封筒木簡とみられる。裏簡は、真徳王太子木簡にみえる(表)「東府都司連上」(裏)「封○口〔印カ〕」(『平城京木簡』二二二二七)などの例により、表裏を判断した。「東道」は類似の表現として『万葉集』とみえ(巻二二五一番歌)、糸路のこと。「草」は草書であろう。「東道草紙鳥」は、差出、充所のいずれとも解しうるが、藤原書で複製されていることからすれば、差出とみるべき。下側に書かれた文字は一文字で、「進」「上」などの文字、あるいは「飛鳥」が姓である場合は名にあたり、目書きとも推測されるが判断できない。裏簡外裏の上下両端近く左右に入りの位置に、「對」と「印」の各一文字を記すが、ともに、紐のあたり部分が白く抜けている。

研究文献情報

当該木簡を取り上げている研究文献一覧を表示します。

研究文献

文化財情報の統合プラットフォーム

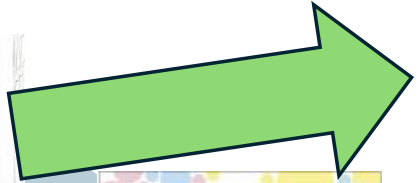

全文データを検索可能!

WEBで発掘調査報告書を読む

全国遺跡報告総覧

Comprehensive Database of Archaeological Site Reports in Japan

書誌
本文 (PDF)
遺跡 (抄録) 検索



2025年3月
全国文化財総覧
名称変更



テキスト解析

全国文化財イベントナビ

各地の情報をチェック

[原覧会] 2021-07-20 ~ 2021-09-26 岡山県
発掘速報展2021「弥生から中世のすまじい」(8/18~当面の休館のため中止)
富山県

[原覧会] 2021-07-22 ~ 2021-09-20 福岡県
まほろん20周年記念企画「文化財をよみとく科学のチカラ」
富山県

文化財動画ライブラリー

全国の動画が探せる

文化財論文ナビ

時代やテーマで論文を検索できる!

田小屋野発掘出土貝殻の放射性炭素年代測定 (AMS測定)
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘

田小屋野発掘出土動物遺存体・炭化材種別特定と放射測定
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘

田小屋野発掘出土性炭素年代測定
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘

記念物としての博物館
小林 達雄 (KOBAYASHI TATSUO)
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘

カンカン岳金山跡発見の銅山白について
寺崎 康史 (TERASAKI YASUFUMI)
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘
株式会社 田小屋野発掘



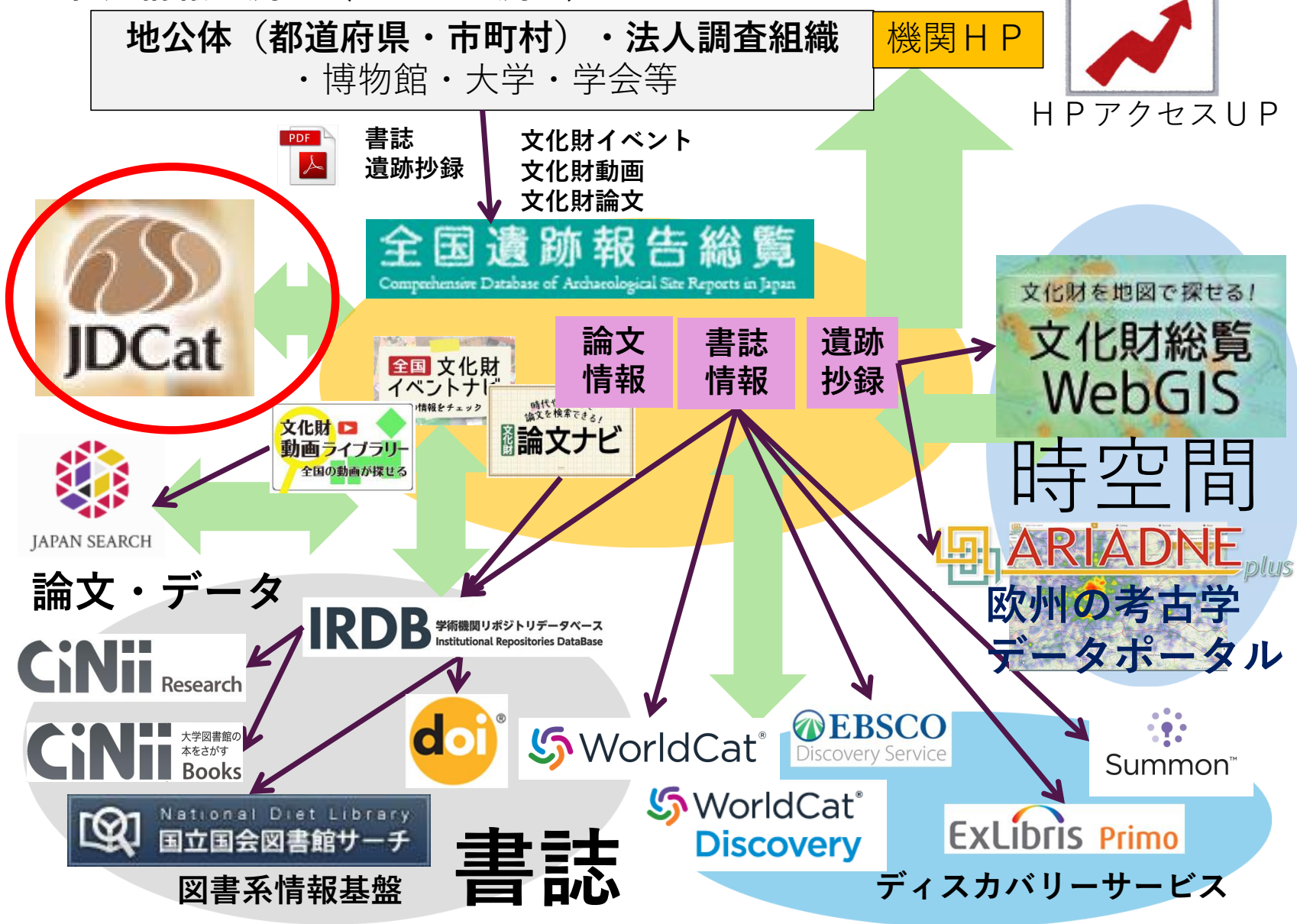
全国文化財目録

文化財の検索がスムーズ!

文化財データリポジトリ

報告書の画像&3D倉庫

文化財情報の流通（データの流れ）



(1) JDCatとの連携

木簡データ JDCatへの掲載

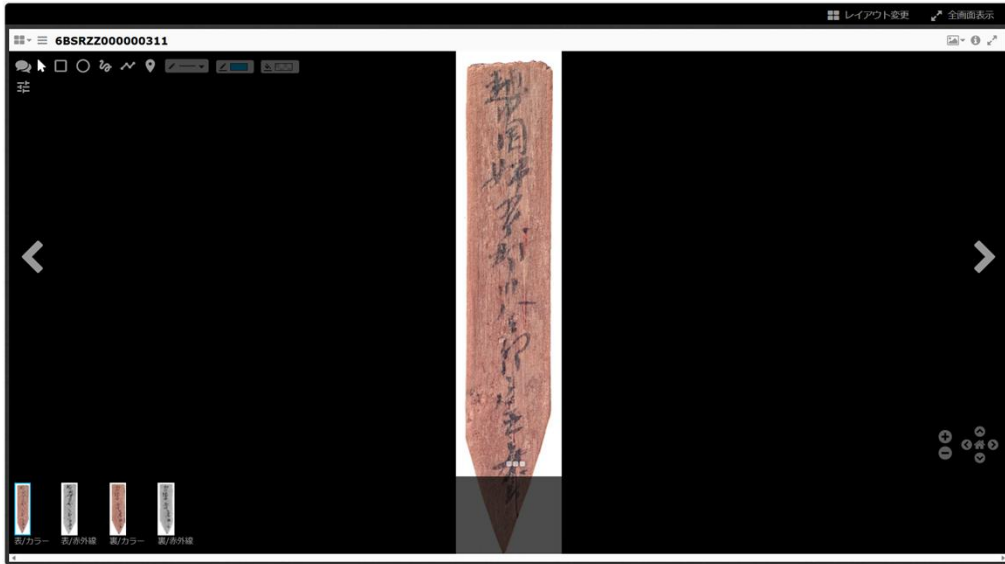
6/26一般公開
木簡庫データ30,075件を連携

The screenshot shows the JDCat website interface. At the top, there are logos for JDCat, the Japan Society for the Promotion of Science, and the National Institute of Informatics. Below the logos is a navigation menu with links like 'トップ', 'お知らせ', 'JDCatとは', etc. A search bar is present with a search button and a '詳細検索' button. The main content area displays a record for '平城京右京一条二坊(西隆寺跡東門地区)出土木簡'. The record details include the title, creator (西隆寺跡調査委員会), distributor (奈良文化財研究所), URI, and access type (open access). The content description provides a detailed abstract of the wooden tablets. On the right side, there are statistics for views (0) and a list of versions (Ver. 1). At the bottom right, there are options for exporting the data in various formats like OAI-PMH, JPCOAR, and DublinCore.

公開日	2025-03-28
タイトル	平城京右京一条二坊(西隆寺跡東門地区)出土木簡 Wooden Tablets from
作成者	西隆寺跡調査委員会
寄与者	Distributor 奈良文化財研究所 Nara National Research Institute for Cultural Properties
URI	https://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/6SRZZ0000031
アクセス権	open access
内容記述	Abstract 本文：・越中国禰負郡川合郷戸主〇〇〔部カ〕・〇日〔五百カ〕浪米五斗／天平神護三年／ 出典：西隆寺-31 遺跡名：平城京右京一条二坊(西隆寺跡東門地区) 所在地：奈良県奈良市西大寺東町二丁目 内容分類：荷札 和暦：天平神護3年 国郡郷里：越中国禰負郡川合郷 人名：〇(部五百)浪 木簡説明：越中国禰負郡川合郷からの春米の荷札。文字も木簡のつくりもあまり丁寧ではなく、天平頃の二条大路木簡などに比べると、やや雑な印象を受ける。真進者名の姓名の間で裏面に書き綴られている。裏面の名は、「〇日浪」では適切なが思い浮かばない。二文字目の字形は確かに「日」だが、「五」の最後の横画と、「百」の最初横画を共有していると見なせば、「五百浪」と読め、名として不自然ではなくなる。天平神護三年は七六七年。八月一六日に改元して神護景雲元年となるから、それよりも前に真進されたものである。 Other

(1) JDCatとの連携

木簡データ JDCatへの掲載



■添付画像

調査主体が奈良文化財研究所（奈良国立文化財研究所含む）であれば、どなたでも複製、公衆送信、翻訳・変形等の翻案等、自由に利用できます。商用利用も可能です。申請不要です。詳細は利用条件をご確認ください。高解像度画像がColbaseに掲載されている場合がありますので、Colbase (<https://colbase.nich.go.jp/?locale=ja>) でもご確認ください。

■詳細	URL	https://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/6BSRZZ00000311
	木簡番号	31
	本文	・越中国總負郡川合郷戸主□□(部カ)・□日(五百カ) 浪米五斗/天平神護三年/
	縦	120
	寸法(mm) 横	21
	寸法(mm) 厚さ	2
	型式番号	051
	出典	び 西隆寺-31
	文字説明	
	形状	
	樹種	
	木取り	
	遺跡名	平城京右京一条二坊(西隆寺跡専門地区)
	所在地	奈良県奈良市西大寺東町二丁目
	調査主体	西隆寺跡調査委員会
	発掘回数	1
	遺構番号	SX033;SX035
	地区名	6BSR
	内容分類	巻札
	国郡郷里	越中国總負郡川合郷
	人名	□(部五百)浪
	和暦	天平神護3年
	西暦	767(年)
	遺構の年代観	
	本簡説明	越中国總負郡川合郷からの書米の巻札。文字も木簡のつくりもあまり丁寧ではなく、天平頃の二条大路木簡などに比べると、やや雑な印象を受ける。発掘者名の姓名の順で裏面に書き記している。裏面の名は、「□日浪」では適切な名が思い浮かばない。二文字目の字形は確かに「日」だが、「五」の最後の横画と、「百」の最初の横画を共有していると見なせば、「五百浪」と読め、名として自然ではなくなる。天平神護三年は七六七年。八月一日に改元して神護景雲元年となるから、それよりも前に発掘されたものである。
	DOI	http://doi.org/10.24484/mokkanko.6BSRZZ00000311



(2) 他機関のデータ受入や受託

受入データ拡大へ向けて

○木簡データ

複数の機関と公開画像や木簡庫連携について交渉中

今年度以降、画像連携が完了したのからJDCat連携に向けてメタデータ整理

各機関の反応は、おおむね好意的

高解像度の画像提供は、木簡庫からではなく各機関からとの要望あり

JDCat連携に必要なメタデータ「対象時期」（遺構の年代観）の整理が難しいとの声も

(2) 他機関のデータ受入や受託

受入データ拡大へ向けて

○文化財情報

報告書データベース登録に関する全国説明会を実施

対象：地方公共団体およびその関係機関、法人等調査組織、
大学等その他法人の埋蔵文化財担当職員等

趣旨：発掘調査報告書と、文化財動画や文化財イベント情報の連携→効果的な発信が可能
当説明会では、報告書の電子公開や文化財情報の登録の実務を説明

活用促進と普及公開に資することを目指す → データ利活用の促進とも関係

2025年度は下記3会場で実施

- ・愛媛県（現地・オンライン併用）
- ・山梨県
- ・沖縄県

計242名の参加

（※2024年度は鹿児島、栃木、福井で実施 計217名の参加）

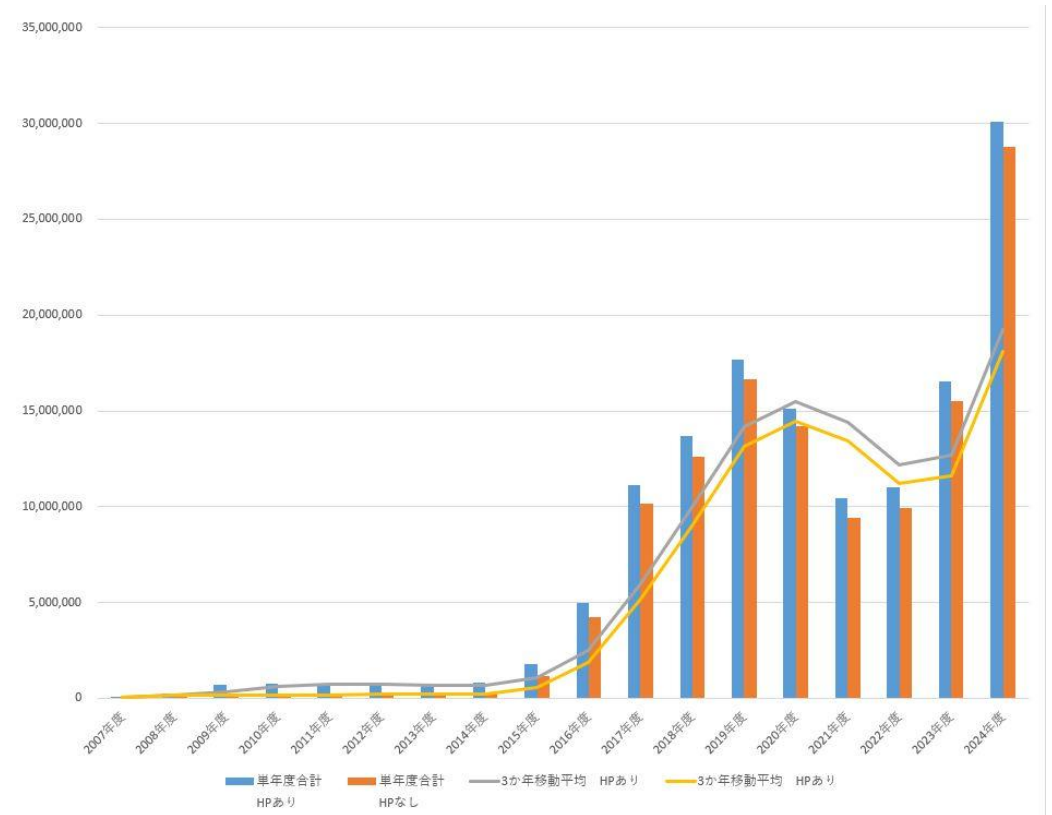
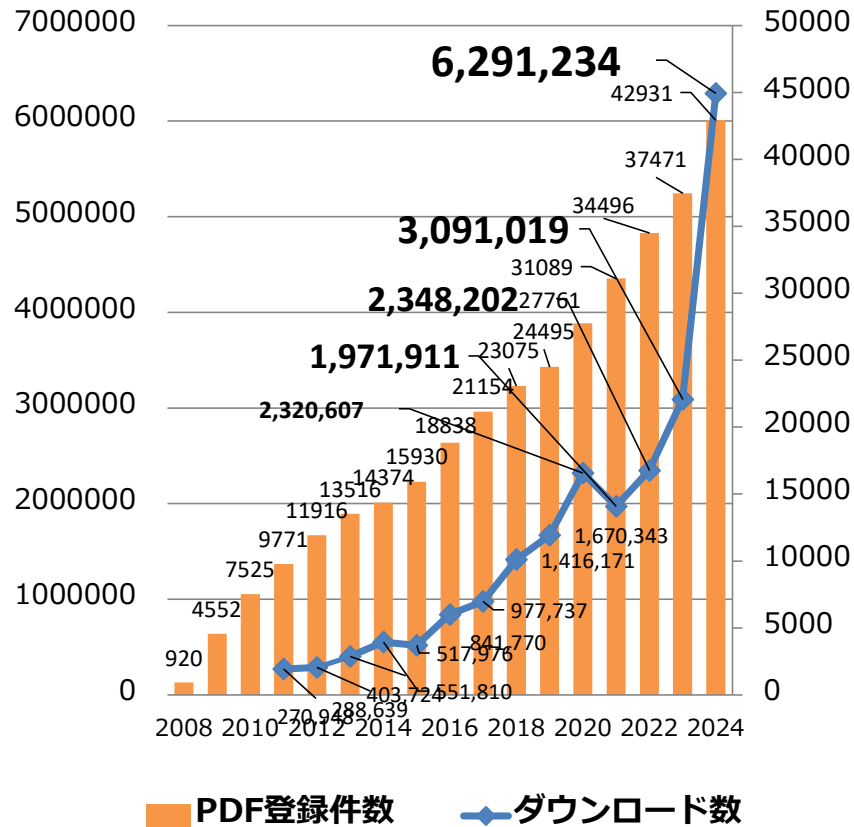
2026年度も引き続き実施予定



(2) 他機関のデータ受入や受託

受入データ数とダウンロード・アクセス数の推移

○文化財情報



(2) 他機関のデータ受入や受託

受入体制の強化

○木簡データ

- ・ 画像ダウンロードボタンの設置

- ・ JDCat連携用に整理した項目のウェブサイト表示

遺跡名 (英語)
調査主体 (英語)
遺構の年代観
DOI

The screenshot shows the 'Wooden Tablet Database' interface. At the top, there are navigation links for 'English', '簡体中文', and '繁'. Below the search bar, there are three buttons: 'すべて', '本文', and 'カテゴリー (意味検索)'. The search bar contains the text 'キーワード' and a '検索する' button. Below the search bar, there is a section for '添付画像' (Attached Images) with a small image of a tablet and a '画像ダウンロード' button circled in red. To the right of the image is a disclaimer in Japanese. Below the image section is a '詳細' (Details) table with the following data:

URL	https://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/6AJBQI29000105
木簡番号	1292
本文	・□□□□ (五日少録衣カ) □□ ◁ ・○使□□ ▷
寸法(mm)	縦 (165) 横 (13) 厚さ 4
型式番号	081
出典	藤原宮3-1292
文字説明	
形状	上二次的切断、下削り、左二次的割りカ、右欠(割れ)。
樹種	針葉樹△
木取り	板目
遺跡名	藤原宮跡東方官衙北地区 Fujiwara Palace Site (Eastern Government Office, Northern Sector)
所在地	奈良県橿原市高殿町
調査主体	奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部 Department of Asuka and Fujiwara Palace Sites Investigations, Nara National Research Institute for Cultural Properties
発掘次数	藤原宮第29次
遺構番号	SD170
地区名	6AJBQI29
内容分類	その他
国郡郷里	
人名	(衣)→
和暦	(5日)
西暦	(5)(日)
遺構の年代観	694-710
木簡説明	上端二次的切断、下端削り、左二次的割りカ、右辺割れ。「少録」は省の第四等官。
DOI	http://doi.org/10.24484/mokkanko.6AJBQI29000105

(3) データ利活用の促進

データ利活用研究会

外部有識者を招いて所内研究会を開催。

2024年度のテーマ：研究データ

- ①研究データを巡る国の方針・考え方
- ②研究データの長期保存のための世界的な動向
- ③研究データを適切に維持・公開・活用するための国内機関の動向

2025年度のテーマ：時間情報

- ①あいまいな時間情報に関する表現・検索方法
- ②他の時間情報と結び付けるLinked Data
- ③時間名から時間軸上の位置を得るシステム



2024年度所内研究会のようす

あいまいな時間情報の記述・検索

① あいまいな時間情報

8世紀初頭、江戸時代中期、近代以降、など
歴史学ではあいまいな時間情報を取り扱うことが多い

② JDCatの「対象時期」

あいまいな時間表現の記述は不可、検索方法も
西暦に置き換えて始点と終点を明示

③ あいまいな時間表現の記述・検索

あいまいな時間の記述ができれば、もっと連携しやすくなる？
あいまいな時間の検索ができれば、もっと利活用しやすくなる？



連携する分野の裾野が広がり、JDCat活用の可能性も広がる？

来年度以降も新たなデータをJDCat連携予定

ご清聴ありがとうございました。